

2008年

熊本学園大学水俣学研究センター 第五期公開講座

「地域力」

について考えてみる

地域の課題解決と、

いつまでも住み続けたいと思う地域づくり

9月30日～

10月28日

18:30-20:30

毎火曜開講

全5回

会場

水俣市婦人会館

水俣市浜町3丁目9-33 (水俣市公民館 奥)

問い合わせ先

熊本学園大学

水俣学現地研究センター

0966-63-5030

主催

水俣学研究センター

後援

水俣市・水俣市社会福祉協議会

今、私たちの暮らす地域では、介護、雇用、廃棄物、不登校、虐待などに関わる様々な問題を抱えています。これらの問題の解決を、行政や「専門家」に任せるのではなく、一人ひとりの生活者が、それらの問題に目を向け、地域で共有すべき課題としてとらえ、地域の多様な構成員（アクター・セクター）の協働で問題解決を図ることが求められています。今回の講座では、地域の課題を解決し、いつまでも住み続けたいと思う魅力ある地域をつくり出す力としての「地域力」について、共に考えてみたいと思います。

どなたでも無料で受講できます

申し込み方法・講義内容などは裏面をごらんください



全5回の担当講師陣と講義テーマ

5回の講義すべてを受講された方には「2008年公開講座修了証」を発行します

第1回 9月30日 山中進 (熊本学園大学社会福祉学部教授)

「山間地集落の維持と再生」

1944年生まれ。1972年立正大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学後、共立女子中学教諭、熊本大学法学部教授等を経て現職。文学博士。山間地集落の機能維持、特に「小さな産業づくり」の展開と集落維持の方策について考察している。



第2回 10月7日 岩本剛 (氷川町農地整備課 / 宮原好きネット支配人)

「まちづくり情報銀行とソーシャル・キャピタル(新社会資本)」

1962年熊本生まれ。1995年に「まちづくり情報銀行」開設後、7つの民間団体を立ち上げ活動中。住民参加・主導型のまちづくりのほか、人材育成、環境学習・保全活動等を実践。「わらしべ長者便」「まちづくり大学」も主宰する。



第3回 10月14日 石井亨 (廃棄物対策豊島住民会議)

「豊島事件から地方議会へ」

1960年香川県豊島生まれ。香川県立農業大学校卒業後、1981年から2年間農業研修生として渡米。帰国後就農するが、1993年豊島公害調停に選定代表人として参画、住民運動の中心メンバーとなる。1999～2007年香川県議会議員(2期)。



第4回 10月21日 福原宏幸 (大阪市立大学大学院経済学研究科教授)

「社会的排除への闘い—大阪のいくつかの取り組みから」

1954年生まれ。1988年大阪市立大学経済学博士課程単位取得退学後、日本学術振興会特別研究員、大阪市立大学経済学部講師を経て現職。1995年から1年間フランス エブリー大学等で在外研究。研究分野は社会政策、労働経済論。



第5回 10月28日 宮北隆志 (熊本学園大学水俣学現地研究センター長)

「持続可能な水俣・芦北地域の再構築

—水俣・芦北地域戦略プラットフォームの取り組みから—

1952年大阪生まれ。京都大学大学院工学研究科修士課程修了後、熊本大学医学部助手・講師を経て現職。工学修士・医学博士。「環境ネットワークくまもと」代表をはじめ、市民活動への関わりが深い。研究分野は衛生学、健康科学など。



■お申し込み方法 *水俣学現地研究センターに直接おいでいただいております

1. まず、水俣学現地研究センター(0966-63-5030)まで電話またはFAXでご連絡ください(この段階では「仮申し込み」になります)
2. 申込用紙をお手元まで郵送いたします
3. 申込用紙に必要事項をご記入いただき、水俣学現地研究センターまで郵便またはFAXにてお送りください(正式なお申し込みとなります)

水俣学現地研究センター

〒867-0065 水俣市浜町 2-7-13 TEL/FAX 0966-63-5030

開館日・時間 火～金 10:00-16:00